

JR肥薩線復興アクションプラン中期計画及びR7・R8単年度計画の概要について

- アクションプランで定められた目指すべき地域の姿をもとに、中期計画・単年度計画を策定
- 最初の2年間となる第1期では、重点施策の確実な推進と今後の施策展開に必要な準備（課題整理・体制構築等）に取組む
- R7/R8単年度計画については、**重点施策に絞って実施事項を整理、施策を推進**
- 他施策は「できることから実行する」の考え方のもと既存の取組みを着実に実施

【観光利用施策】

第1期重点施策

球磨川の自然や地域の
文化資源を活かした
観光施設・景観の整備

観光の拠点としての
人吉駅周辺整備

地域を代表する
観光列車の導入

その他の施策

県や市町村等が実施する
既存事業を着実に推進

第1期で目指す姿（中期計画）

- 各市町村計画と肥薩線との連携事項が整理されている
- 肥薩線ビュースポットの候補地選定・基本設計に向けた準備に着手する
- 官民連携手法が整理されている

- 整備内容・規模について関連計画と連動して検討されている
- 初期費用負担の軽減等について整理されている
- 土地・建物の所有権等について整理されている

- 地域を代表する観光列車のあり方を詳細化できている
- 車両の新造(又は改造)に係るスケジュールが明確化されている
- 費用負担スキームが詳細化されている

- 各市町村で既に取組んでいることを継続して実施し、肥薩線周辺地域の魅力向上や観光客の増加を促進する

具体的な取組み例（単年度計画）

R7
実施

- ビュースポット候補地の整理・検討
- 選定された候補地から駅までの動線確認

- 人吉駅周辺整備の内容協議
- 土地・建物の権利関係を協議
- SL人吉動態化の内容詳細化

- コンセプト案の企画・絞り込み
- スケジュールの詳細化
- 費用負担スキームの検討

R8
実施

- 広域連携の考え方、連携事項等を整理
- ビュースポット基本設計への準備

- 駅や周辺整備における国補助等の活用検討
- 土地・建物の権利関係を協議

- 観光列車のコンセプト詳細化
- 費用負担スキームの検討・関係者合意

- 各市町村における花火大会やマンガ・アニメ等と連携した既存イベントの実施
- その他県や各市町村等における既存の観光振興事業の実施

JR肥薩線復興アクションプラン中期計画及びR7・R8単年度計画の概要について

- アクションプランで定められた目指すべき地域の姿をもとに、中期計画・単年度計画を策定
- 最初の2年間となる第1期では、重点施策の確実な推進と今後の施策展開に必要な準備（課題整理・体制構築等）に取組む
- R7/R8単年度計画については、**重点施策に絞って実施事項を整理、施策を推進**
- 併せて肥薩線周辺地域における二次交通整備の取組みについても推進

【日常利用施策・基盤整備】

第1期重点施策

くま川鉄道や新八代駅
への直通運転

生活・交流拠点としての
駅再整備

通勤・通学時間帯の
増発

その他の施策

市町村内および広域の
二次交通整備

第1期で目指す姿（中期計画）

- 直通運転ダイヤの検討の前段として、被災前の肥薩線利用実態・くま川鉄道の利用実態が整理されている
- 住民や観光客のアンケートを通じて、直通運転のニーズが再整理されている

- 新たに整備する施設の具体的な立地、規模、機能について整理されている
- 各駅舎の権利関係について、JR九州と所有権の移転やその時期などの事項について協議が進んでいる

- 被災前における地元住民の通勤・通学実態を調査し、状況が把握できている
- 今後実施予定の実証実験にかかる実証ダイヤについて検討し、課題が整理されている

- 肥薩線周辺地域における広域的な二次交通整備の前段として、各市町村において二次交通整備に向けた取組みが進められている

具体的な取組み例（単年度計画）

R7
実施

- 各駅における被災前の利用状況把握
- 豊肥本線等の事例調査

- 駅立地の検討
- 整備項目（規模・機能）の整理
- 事業スキームの詳細化

- 被災前の通勤・通学利用実態の調査
- 実証ダイヤの検討

R8
実施

- 住民・観光客へのアンケート等によるニーズ調査
- 過去事例を参考とした実施事項の整理

- 概算見積の微取
- 費用負担スキームの検討
- 整備する駅の権利関係の整理

- 地元住民の移動ニーズ整理
- 実証ダイヤの検討・整理

- 各市町村において既存の二次交通整備施策の推進
- 熊本県地域公共交通計画と連動した二次交通整備に向けた取組みの実施